

令和5年度水産加工業等販路回復取組支援事業（2次） 採択結果

復興水産加工業販路回復促進センター

所在地		事業者	取組概要
青森県	八戸市	五戸水産株式会社	製造工程の省力化・増産化のためにミートチョッパーを、包装工程の省力化と個包装に対応したシーラー機を導入して生産効率を改善する。また、常温から冷蔵品目の売上拡大も見込み冷蔵冷凍タイプの自動販売機を増設する。これらにより、対応できなかった注文に対応できる体制を整え、売上回復を図る。
岩手県	下閉伊郡普代村	株式会社越戸商店	人手・時間を要していた洗浄工程において高圧洗浄機を導入し、効率的に作業を行えるようにする。また、フォークリフトを導入し、作業の効率化のみならず区画ごとに異なる機器を使用することで衛生的に作業を行うことへ繋げる。さらに、スリットカーテンを導入することにより、異物混入を防げる衛生環境にし、品質の向上を図り、販路の拡大に努める。
	宮古市	株式会社大濱正商店	ボトルネックとなっているシール作業を効率化するオートシーラーの導入を行うとともに、端材等を活用した簡単で美味しい商品の商品開発を行うためにスチームコンベクションオーブンの導入を行い、工場の生産性を向上させるとともに、新たな加工品の展開を図り、販路回復に努める。
宮城県	気仙沼市	株式会社齊吉商店	干物製造に必要な塩水漬けタンクやキャスター作業台、さらに干物専用の熟成乾燥機を新たに導入することで、衛生的且つ安定的な干物の製造体制を構築し、売上回復に努める。
		株式会社カネダイ	現在の生産状況では生産効率が悪く、人手がかかるため自転公転式加熱攪拌機を導入するとともに、その生産数量に見合う充填機を導入し、生産性の向上と省人化を図り、スープ製品の売上を拡大させ販路の回復を図る。
		有限会社丸繁商店	新たな顧客層を取り組むべく専門家の知見を活かしマーケティング戦略に取り組みとともに、省人化、製品の品質を高めるため、現在人力で行っている選別作業を自動化できる設備機器の導入を行い、既存取引先の売上拡大、新規販路の拡大を行い、販路の回復を図る。
	石巻市	水野食品株式会社	包装機を追加し生産性の向上、商品・規格等の多様な包装に対応できる深絞り包装ラインを導入する。また、新商品開発を行うため、工場生産効率改善に向けて、省人化機器の導入を行い、販売先に対し対応できなかった注文に対応できる体制を整え、販路回復を図る。

所在地		事業者	取組概要
福島県	いわき市	株式会社夕月	85gの板蒲鉾の生産能力をアップするため、従来ある蒸し機に既存のリテーナ缶に新規に特注のスペーサー等を取り付け、需要に対応できる生産体制を構築し、取引先の注文に対応し販路回復を図る。
茨城県	東茨城郡大洗町	株式会社谷藤水産	自動高圧洗浄機を導入し、洗浄作業の時間を大幅に短縮させ、その人員をみりん干し等の製造工程に再配置することで生産量増加につなげ、洗浄工程の省人化及び衛生面の向上、さらに製品の増産体制の構築を図り、既存取引先だけでなく新たな販路を開拓して売上の増加を図る。
千葉県	銚子市	株式会社イリヤマサ加瀬商店	段ボール箱での冷凍加工品の生産を増やすため、新たに箱入れ用定量器とコンベアを導入し、選別から凍結までを自動化し、大幅な省人化と生産性の向上を図り、単価の高い段ボール箱での冷凍加工品の生産を増やすことで、売上回復を図る。
		株式会社兆星	要望のあるマイワシ等を用いたパン粉付け商品、寿司ネタ等フィレの新商品開発・製造販売のため、イワシ開きライン、イワシフィレライン、自動パン粉付け機、リキッドフリーザーを導入し、販路回復を図る。

※本事業は、復興水産加工業等販路回復促進事業実施要綱（平成23年11月21日付け23水漁第1445号農林水産事務次官依命通知）に基づき実施する国庫補助事業です。